

地域振興推進費事業計画・自己評価書 (実績)

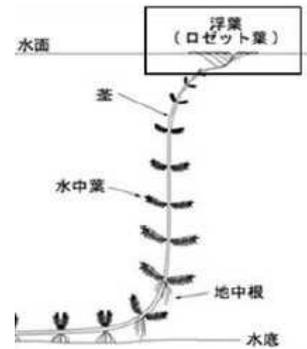
令和6年3月1日

提出区分	実績	整理番号	5	課題区分	C
横断的な課題	諏訪湖創生ビジョンの推進				
地域重点政策	諏訪湖創生ビジョンの推進				

諏訪地域振興局

実施機関	諏訪地域振興局		担当課	所属	環境課
事業名	ヒシ除去量増加に向けた新たな仕組みの構築事業		E-mail	電話	0266-57-2952(内線2541)
				E-mail	suwachi-kankyo@pref.nagano.lg.jp

事業の概要等	目的 (目指す姿)	総合5か年計画及び諏訪湖創生ビジョン(改定版)においてヒシによる貧酸素、景観阻害等の課題の解消のため、ヒシ除去量の増加に向けた新たな仕組みづくりを重点施策としてR5から位置付け。新たな仕組みづくりとして、団体の自主的な取組とともに、これまでの刈取手法に加え、より簡便かつ費用のかからない方法によるヒシ除去を試行的に実施し、効果を検証する。	
	現状と課題	ヒシは栄養塩類吸収による水質浄化や、野鳥のえさ場、魚類や水生昆虫の産卵場所となる等プラス面の影響がある一方、大量繁茂による沈水植物への生育障害、枯死による底質環境悪化、水流阻害による貧酸素化、船の航行障害、景観の悪化等マイナス面の影響がある。2028年度国民スポーツ大会開催に向けヒシ刈り等による諏訪湖の環境整備を求める声もある中で、新たなヒシ除去手法を検討する必要がある。	
	内容 (変更後の内容)	<p>1 新たな手法の試行的導入 これまでの機械刈り、手作業での抜き取りに加え、実なるロゼット葉のみを除去する方法を試行。(北海道の達古武湖で先行事例あり。諏訪湖での繁茂抑制効果や費用対効果を検証。)</p> <p>2 導入方法 ・ヒシ除去は結実前の9月5日に実施。 ・除去したエリアの周りに、未除去エリアからの実の混入を防ぐため設置網を施工。 ・ヒシ除去、設置網施工は、諏訪湖において類似の作業の実績のある事業者へ委託。</p> <p>3 評価方法 ・対象エリアの試行前と翌年度の繁茂状況を写真等で比較し、効果を検証。</p>	
	事業期間	令和5年8月	～



事業費等	(単位:円)			
	事業を構成する細事業名等	実施内容	実績額	備考
	新たなヒシ除去手法の試行的導入事業	委託料	498,520	公募型見積合わせによる
		需用費(機部材費用)	43,078	別紙経費入力シートのとおり
合計		541,598		

指標及び達成状況	成果指標	目標値	成果	達成状況
	試行エリアの面積	30㎡	36㎡	○ 達成
	除去面積当たりのコスト削減率	50%	19%	● 一部達成
				○ 未達成

事業実績・成果
令和5年9月5日にロゼット葉の除去を実施、9月9日～17日に、除去区画外からのヒシの実の流入を防ぐための設置網の作成、施工を実施した。除去したヒシについては、ロゼット葉とそれ以外の部位の重量を計量し、その比率から堆肥化にかかる経費の削減率を試算した。その結果、ある程度のコスト削減効果があることがわかり、ヒシ除去量増加に向けた足掛かりになった。
また、令和6年1月22日に開催した第1回「諏訪湖の水草対策」ワーキンググループにおいて本事業の報告を行い、情報共有を図るとともに議論を行うことで、団体の自主的な取組を推進するきっかけとなった。

今後の方向性
今年度実施したロゼット葉除去によりどの程度ヒシ繁茂が抑制されるか調査し、新たな手法の効果を明らかにする。コスト削減率については目標値を下回る結果であったが、採取したヒシのサンプルの数が少なく、実態と異なる可能性も考えられるため、次年度はサンプル数を増やす等、より正確な算定を行う。